

2 牛石遺跡

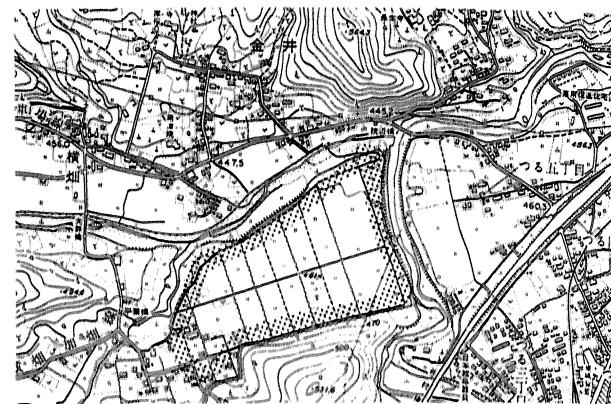
都留市厚原字牛石

立 地

大幡川と桂川が合流する厚原地区字牛石の河岸段丘上に立地する。

同遺跡は、東側には奈良・平安時代の集落址が認められ、西側では第3節で述べた大環状配石遺構が検出された。

弥生時代の遺構は、この環状配石遺構を始めとする配石遺構群の中で検出された。



第1図 遺跡の位置

調 査

同遺跡の調査については、第3節で触れているので重複をさけるとして、弥生時代の住居址は牛石遺跡第3次調査において、環状配石遺構の調査中に偶然発見されたもので、環状配石遺構の内側で2軒、西側で1軒の計3軒の住居址が検出された。

遺構と遺物

前述のとおりに、同遺跡の調査によって弥生時代中期の住居址が3軒検出された。これらの内、Y-1号住居址は、第3図のように隅丸方形のプランを呈し、規模は5.5m×5.5mで、四隅に焼土塊が認められた。同住居址からは、壺・甕・鉢の土器組成の他に、石器類としては、有孔磨製石鎌が出土した。

出土遺物としては、第6図-1は住居址床面より出土したもので、口唇部に縄文(L R)が施され、口唇部直下より胴部にかけて棒状工具によって列点状の刺突文が施され、その下には同じく棒状工具

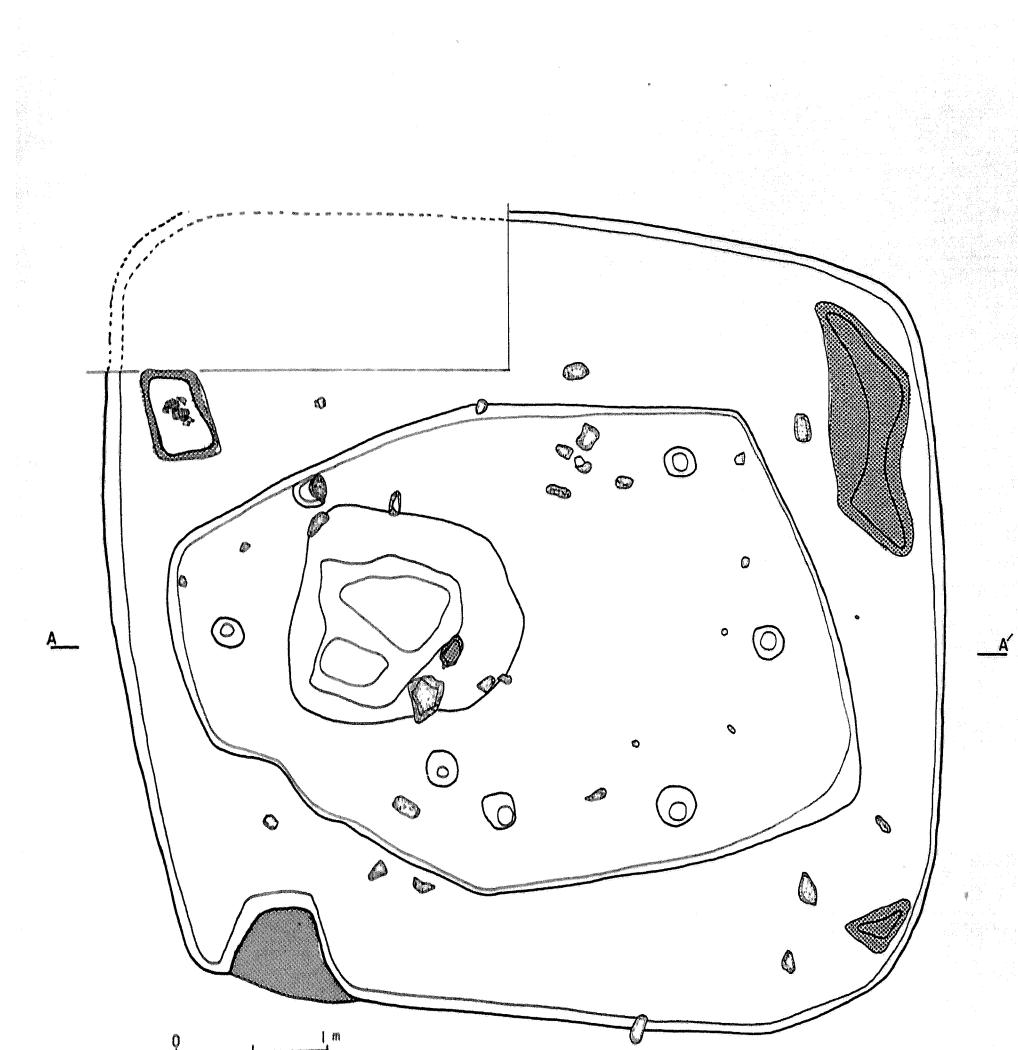


第2図 弥生時代の住居址近景

区画文と縄文が施文されている。

第6図-2は、同じく床面から出土した甕形土器で、口唇部に刻みが施され、その直下より棒状工具によって羽状の沈線文が施文されている。

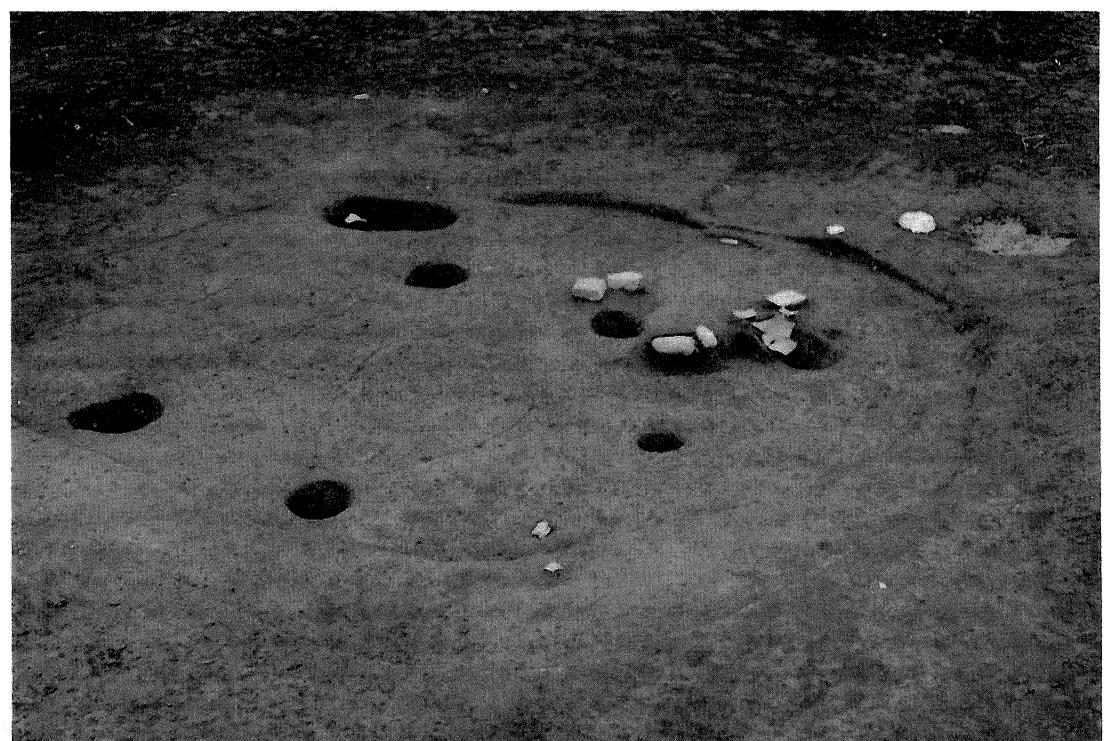
第7図-1~14もY-1号住居址出土の土器であるが、これらの内1~4、7、10~14は甕形土器、5・6・8・9は壺形土器の破片である。



第3図 牛石遺跡弥生時代住居址遺構図 (Y-1号住居址)



第4図 Y-1号住居址



第5図 Y-2号住居址

甕形土器の1・2は同一個体の口縁部破片で、口唇部上に鋭角の竹管文が施され、その直下より横位羽状沈線文が施されている。3・4は口縁部片で、縄文（LR）を地文として、3条にまとめられた櫛歯状施文具によって横位に沈線文が巡らされている。7・10・11は頸部付近の破片で、横位羽状沈線文が施文されている。12は頸部付近の破片で、横位羽状沈線文を画する沈線文が施され、その下に縄文（LR）を地文に波状沈線文が巡らされている。

13・14は小型の甕形土器で、文様は胴上半部に横位羽状沈線文が施文され、底部は木の葉底を呈している。

第8図—17・19・21～23はY-2号住居址出土の土器で、19・21～23は甕形土器、17は壺形土器の破片である。これらの内、甕形土器19は口唇部上に鋭角に刺突文が、また、口縁部には横位羽状沈線文が、それぞれ施され、頸部には波状文を中心に横位の区画文と、その間隙に縄文（LR）がそれぞれ施文されている。21は口唇部上に刻みが巡らされ、口唇部直下には横位羽状沈線文が2段施されている。22・23は頸部及び胴上半部で、22は波状文と連続U字文を中心とした区画文が施されている。

第8図—15・16・18・20はY-3号住居址出土の土器で、15・18・20は甕形土器、16は壺形土器である。

甕形土器15は、口唇部上及び口縁部内面に縄文（LR）が施され、口縁部に横位羽状沈線文、頸部には3本の沈線文が巡らされ、その直下から連続U字文が連結されている。

20は、口唇部に縄文（LR）が施され、口縁部内面には7条にまとめられた櫛歯状の横位沈線文が一定間隔に巡らされ、口縁部及び胴上半部に3条の横位羽状沈線文が施されている。

（喜多圭介）

成果と課題

牛石遺跡第3次調査において、縄文時代中期末葉の大環状配石遺構の調査中に偶然発見された弥生時代の住居址は3軒であり、住居址相互の重複関係はまったくみられなかった。

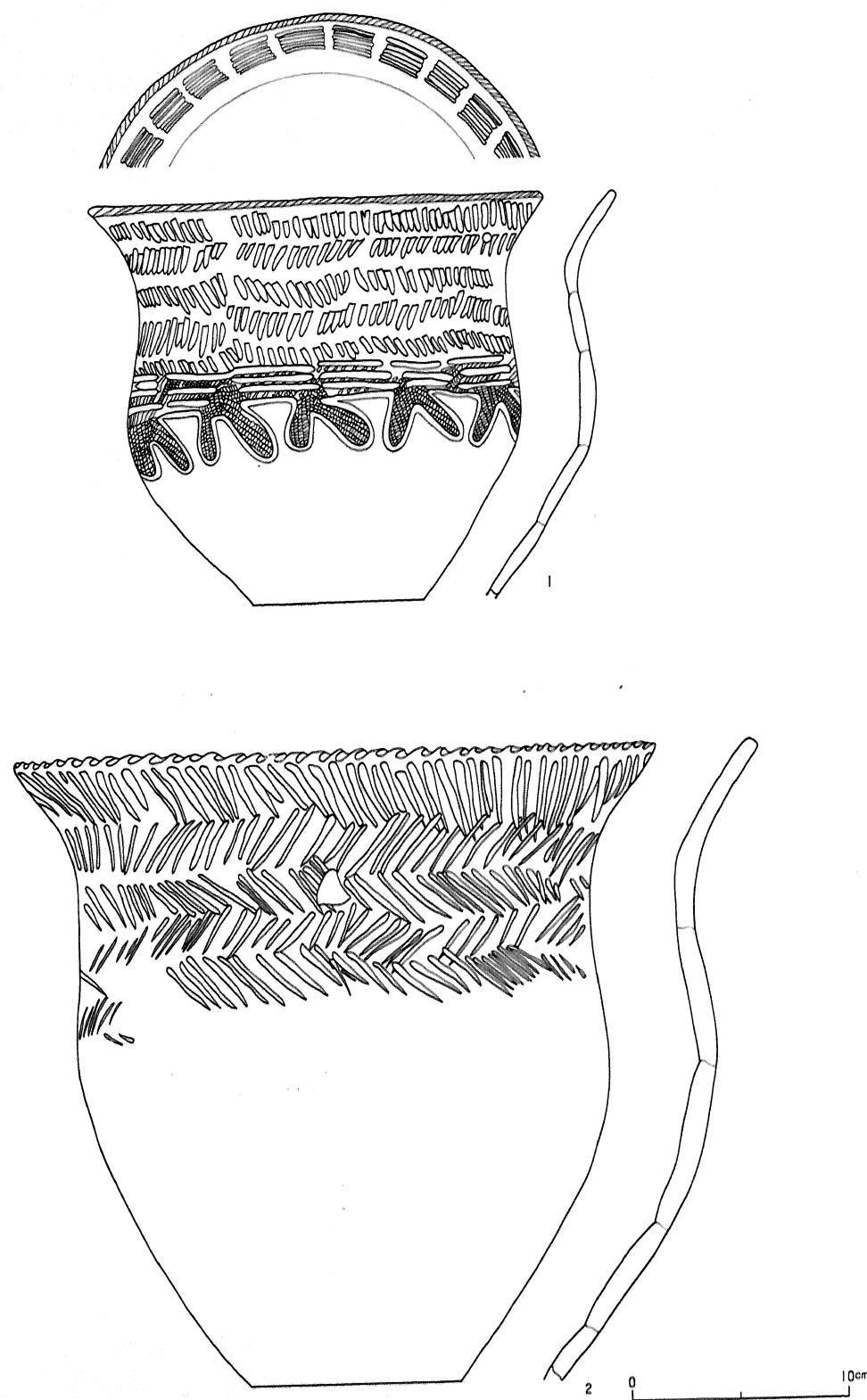
これらの住居址の内で、保存状態の良かったY-1号住居址は、5.5m×5.5mの不整形プランを呈していた。Y-2号住居址もほぼ同様であった。

出土遺物は、すべて住居址の覆土及び床面・地床炉内から出土したもので、出土量は各住居址とも大差なく認められた。出土土器の文様を見ると、甕形土器は各住居址共にほぼ共通の手法を用いていることから、これら3軒の住居址は時期的にはほぼ同一時期のものであると思われる。また、これらの土器群の様相は特徴的な内容を有している。

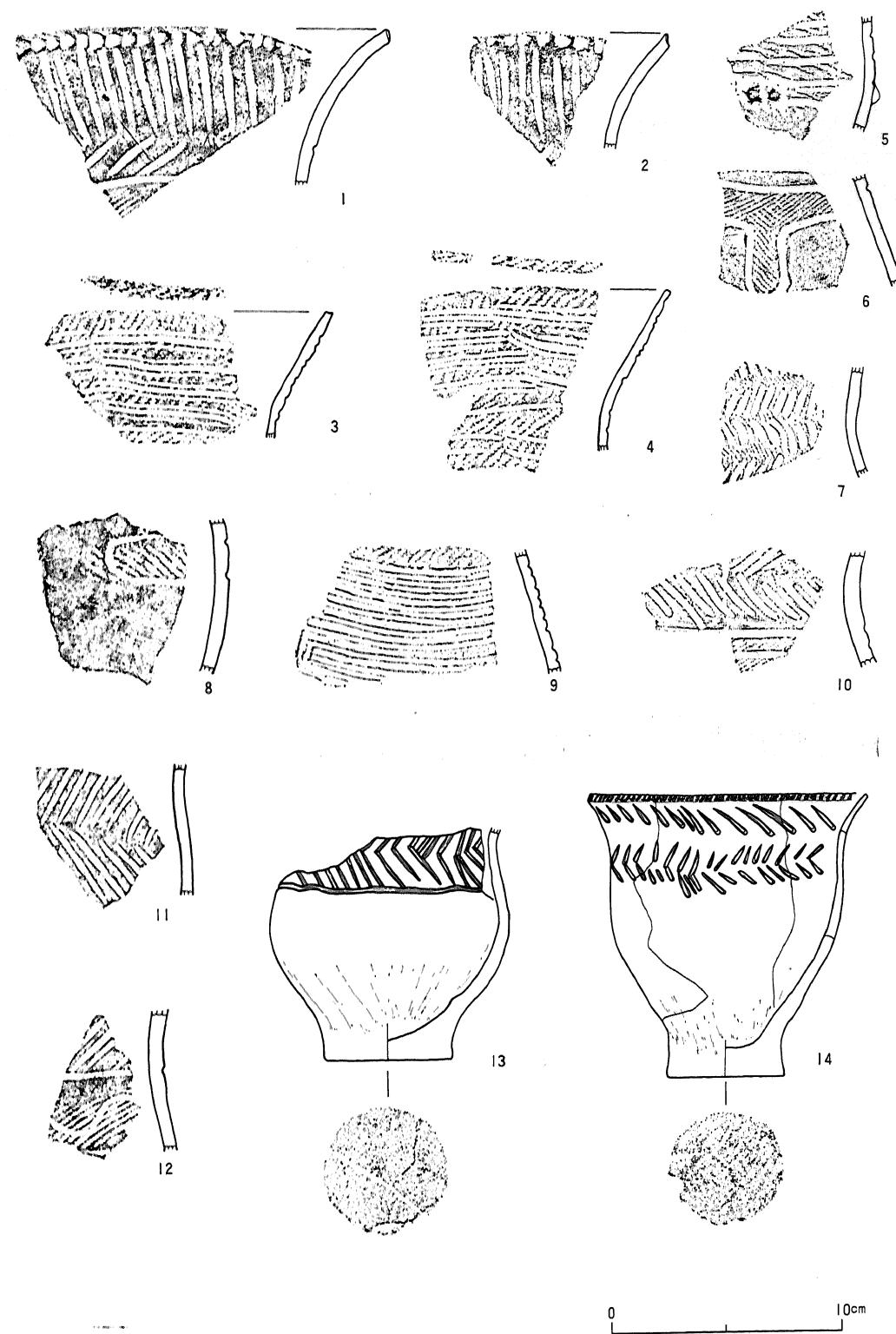
住居址より出土した石器は、Y-1号住居址の有孔磨製石鏃が唯一のものといってよく、他は不定形の石器が若干出土したのみであった。

遺跡の現状

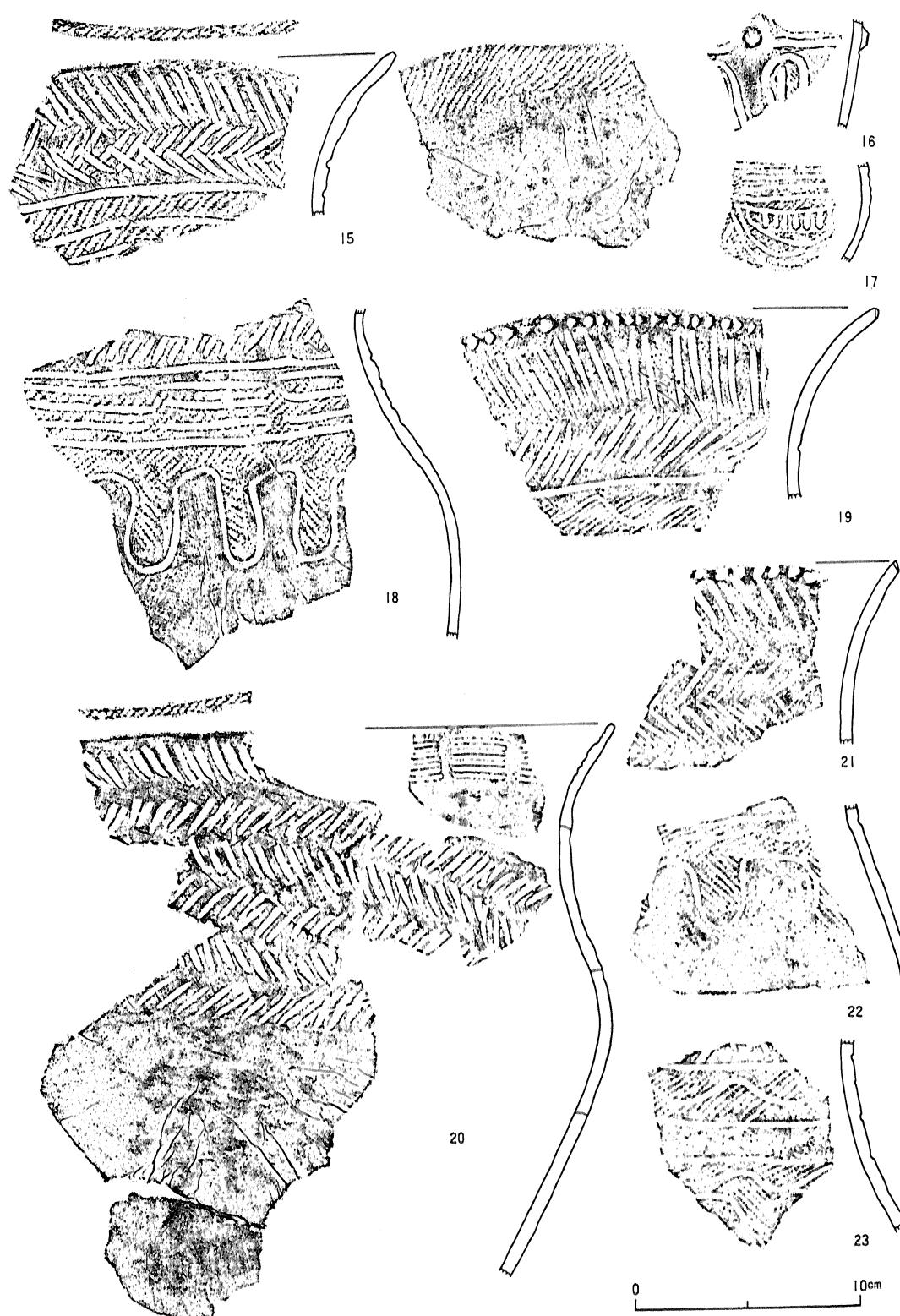
遺跡は、現在一面の水田となっている。弥生時代の住居址は環状配石遺構の調査のために、住居址調査後壊してしまったが、環状配石遺構は現在も水田の下に保存されている。



第6図 牛石遺跡Y-1号住居址出土土器実測図



第7図 牛石遺跡Y-1号住居址出土土器拓影図



第8図 牛石遺跡Y-2・3号住居址出土土器拓影図